

# 第 133 回 地区内中小企業 景気動向調査結果

(2022 年 1 月 ~ 3 月実績)

(2022 年 4 月 ~ 6 月予想)

\*\*\*\*\* 目 次 \*\*\*\*\*

地区内データベース	.....	1
全国 ・ 全道の概況	.....	4
調査の概要	.....	5
全業種総合	.....	6
製造業	.....	9
建設業	.....	11
卸売業	.....	13
小売業	.....	15
サービス業	.....	17
特別調査	.....	19

# 地区内データベース

## 1. 人口・世帯数動向（令和4年3月末）

町 村 名	人 口			世 帯 数		
	人 数	前年同月比	3 月 末 比	世 帯 数	前年同月比	3 月 末 比
平 取 町	4,601	-111	-111	2,385	-47	-47
日 高 町	10,966	-210	-210	5,902	-50	-50
新 冠 町	5,178	-147	-147	2,738	-17	-17
新ひだか町	21,071	-398	-398	11,341	-85	-85
浦 河 町	11,629	-251	-251	6,575	-43	-43
様 似 町	4,045	-61	-61	2,104	-38	-38
え り も 町	4,329	-128	-128	2,045	-50	-50
広 尾 町	6,250	-171	-171	3,194	-58	-58
大 樹 町	5,399	1	1	2,755	37	37
日高・十勝地区合計	73,468	-1,476	-1,476	39,039	-351	-351
札 幌 市	1,958,694	-2,135	-2,135	1,089,802	7,525	7,525
江 別 市	119,136	-366	-366	58,912	314	314
石 狩 市	57,979	-239	-239	28,231	-13	-13
北 広 島 市	57,566	-424	-424	28,091	68	68
恵 庭 市	70,033	39	39	34,569	332	332
千 歳 市	97,052	-51	-51	50,716	266	266
石狩地区合計	2,360,460	-3,176	-3,176	1,290,321	8,492	8,492
苫 小 牧 市	168,993	-815	-815	90,643	445	445
厚 真 町	4,384	-36	-36	2,121	9	9
む か わ 町	7,532	-132	-132	3,989	-68	-68
胆振地区合計	180,909	-983	-983	96,753	386	386
営業区域合計	2,614,837	-5,635	-5,635	1,426,113	8,527	8,527

\*日高町の人口に外国人登録者数は含まれていません

(資料出所：各市町村)

## 2. 企業倒産状況（令和4年1～令和4年3月中）

単位：件・百万円	件 数	負 債 金 額	件数前年同期比	金額前年同期比
苫 小 牧 管 内	3	145	3	145
(内・新冠町～えりも町)	1	50	1	50
業種および件数				
地区および件数				
北 海 道	49	7,725	5	2,825
全 国	1,504	307,602	-50	17,271

(資料出所：東京商工リサーチ)

### 3. 労働需給状況

令和4年1月

	浦河 (人・倍)	全道 (人・倍)	前年同月比(%・ポイント)		前月比(%・ポイント)	
			浦河	全道	浦河	全道
月間有効求人数	969	82,158	16.05	5.64	4.53	-4.43
月間有効求職者数	581	82,519	-8.21	4.63	7.39	-1.62
月間有効求人倍率	1.67	1.00	0.35	0.01	0.22	-0.02

令和4年2月

月間有効求人数	1,145	84,037	20.40	8.66	18.16	2.29
月間有効求職者数	602	82,574	-2.59	0.20	3.61	0.07
月間有効求人倍率	1.90	1.02	0.36	0.08	0.23	0.02

令和4年3月

月間有効求人数	1,148	89,752	14.46	7.23	0.26	6.80
月間有効求職者数	653	87,145	0.62	0.33	8.47	5.54
月間有効求人倍率	1.76	1.03	0.21	0.07	-0.14	0.01

(資料出所：厚生労働省 北海道労働局)

### 4. 浦河町・新ひだか町静内 金融機関預金・貸出金残高 (令和4年3月末現在)

単位：百万円・%

預 金			貸 出 金		
残 高	前年同月比	前 月 比	貸 出 金	前年同月比	前 月 比
171,222	1.05	1.02	63,381	1.04	1.04

(資料出所：浦河・静内金融協会)

### 5. 浦河町・新ひだか町静内 手形交換高

令和4年1月

	当 月	前年同月比 (%)	前月比 (%)
交 換 枚 数 (枚)	129	-26.70	0.78
交 換 金 額 (百万円)	349	45.42	-49.57
不渡り手形枚数 (枚)	0	-	-
不渡り手形金額 (百万円)	0	-	-

令和4年2月

交 換 枚 数 (枚)	161	-26.82	24.81
交 換 金 額 (百万円)	280	-20.68	-19.77
不渡り手形枚数 (枚)	0	-	-
不渡り手形金額 (百万円)	0	-	-

令和4年3月

交 換 枚 数 (枚)	171	-31.33	6.21
交 換 金 額 (百万円)	317	-25.76	13.21
不渡り手形枚数 (枚)	0	-	-
不渡り手形金額 (百万円)	0	-	-

(資料出所：浦河・静内金融協会)

## 6. 建築確認申請

単位：件数

		件 数	前年同期比	前四半期比
当 金 庫 管 内 (新ひだか町～広尾町)	4/1～4/3月迄の累計	12	-4	6
	3/4～4/3月迄の累計	90	-9	

(資料出所：各町村)

## 7. 気象情報

令和4年1月中

	本 年			平年偏差・平年比		
	気温 (℃)	降水量 (mm)	日照時間	気温 (℃)	降水量 (%)	日照時間 (%)
浦 河	-2.5	35.0	177.2	-0.1	102.9	124.8
広 尾	-4.2	92.0	178.3	0.0	128.5	107.3

令和4年2月中

浦 河	-2.1	20.0	176.3	0.0	69.2	109.6
広 尾	-3.6	32.0	190.1	0.3	53.4	117.1

令和4年3月中

浦 河	1.5	55.0	196.5	0.6	112.7	101.2
広 尾	1.3	105.0	199.3	1.2	110.4	107.1

(資料出所：国土交通省 気象庁)

## 全 国 ・ 全 道 の 概 況

信金中央金庫がまとめた全国信用金庫の窓口から見た中小企業の景況によると、2022年1～3月期（今期）の業況判断D. I. は△27.6、前期比7.9ポイント悪化と、4四半期ぶりに悪化した。収益面では、前年同期比売上額判断D. I. が△12.8と前期比9.4ポイント悪化、同収益判断D. I. は△20.4と同9.8ポイント悪化した。販売価格判断D. I. はプラス12.5と、およそ30年ぶり水準のなかで一段と上昇した。人手過不足判断D. I. は△19.4と人手不足感はやや緩和した。設備投資実施企業割合は19.3%と前期比で小幅低下した。業種別の業況判断D. I. は全6業種で、また、地域別でも全11地域で、それぞれ悪化した。2022年4～6月期（来期）の予想業況判断D. I. は△24.8、今期実績比2.8ポイントの改善を見込んでいる。業種別には全6業種中、建設業と不動産業を除く4業種で、地域別には全11地域中9地域で、それぞれ改善見通しにある。

日本銀行札幌支店が4月22日発表した北海道金融経済概況によると、北海道の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響から下押し圧力が強い状態にあり、持ち直しの動きが一服している。すなわち、個人消費は、サービス消費を中心に下押し圧力が強い状態にあり、持ち直しの動きが一服している。観光は、引き続き厳しい状況にあり、弱い動きとなっている。設備投資は、緩やかに持ち直している。公共投資は、高水準ながら弱めの動きとなっている。住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。生産は、横ばい圏内の動きとなっている。輸出は、持ち直している。雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱めの動きがみられている。

### 需要項目別動向

- 公共投資・・・高水準ながら弱めの動きとなっている。公共工事請負金額は、高水準ながら、年度累計前年比でみると、弱めの動きとなっている。
- 輸出・・・持ち直している。主要品目別にみると、食料品では、高水準で推移している。輸送用機器等では、緩やかに持ち直している。
- 設備投資・・・緩やかに持ち直している。3月短観（北海道地区）における2021年度の設備投資は、前年を上回る計画となっている。2022年度の設備俊は、前年を下回る計画となっている。
- 個人消費・・・サービス消費を中心に下押し圧力が強い状態にあり、持ち直しの動きが一服している。スーパー、ドラッグストアは、底堅い動きとなっている。コンビニエンスストアは、持ち直している。家電販売は、横ばい圏内の動きとなっている。乗用車販売は、供給制約の影響により、持ち直しの動きが一服している。百貨店、サービス消費は、下押し圧力が強い状態にあり、弱い動きとなっている。
- 観光・・・引き続き厳しい状況にあり、弱い動きとなっている。
- 住宅投資・・・横ばい圏内の動きとなっている。新設住宅着工戸数をみると、持家は、減少している。貸家は、低水準で推移している。分譲は、持ち直している。
- 生産（鉱工業生産）・・・横ばい圏内の動きとなっている。主要業種別にみると、食料品では、一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直しつつある。輸送機器、電気機械では、横ばい圏内の動きとなっている。紙・パルプでは、減少している。
- 雇用・所得・・・労働需給、雇用者所得ともに弱めの動きがみられている。
- 物価・・・消費者物価（除く生鮮食品）は、エネルギー価格を中心に前年を上回っている。
- 企業倒産・・・低水準で推移している。